

Q 消防団員の確保に 町は主導的役割を果たせ

A 町としての考え方を団に伝えていく



渡辺勝弘議員

せて地元自営業者の高
齢化が進んでいる。こ
のため、緊急時の対応
や災害時の救助活動が
低下しつつある現状だ。
対策案はあるのか。

課 住民生活 平成25年
4月1日現

在の団員の約71%がサ
ラリーマンである。し
かし、このような状況

問 町の消防団員
の定員266人
に対し団員数は251
人である。また定期点
検の参加者は約180
人である。団員不足で
町民の安心安全を保つ
ことができるのか。

かし、安全安心を担保
するには、定数を満た
すことが重要である。
今後とも、消防団との
連携と、団員確保のた
めの普及啓発を図り、
町民の安全安心の確保
に努めていく。

町長 県内各町村の
充足率から見ると
高い位置にある。し

問 団員の職業で
サラリーマンの
割合が大きくなり、併

活動により、これまで
町民が不安を感じるこ
となく務めていただい
ている。今後とも消防
団と連携しながら、安
全安心のためにしっか
りに対応していく。

問 平成23年12月
定例会の一般質
問で「団員OBを協力
員として委嘱し、消火
活動を支援する体制を
図るべき」との提案が
あった。その後の経過
は。

課 住民生活 その当時
の消防団幹
部会議において住民生
活課より「消防団OB
の活用をこの幹部会議

での検討課題としてい
ただきたい」との説明を
した。しかし、その後、
特に議題としては出て
いない。

問 団員OBだか
らこそできる仕
事があるのではないか。

課 住民生活 OBの経
験を活か
すよう検討すべきと思
う。

う。

問 退団
希望者
は新団員の確
保まで考えな
いと退団でき
ない現状だ。
団員確保のた
め、町内会で
人材を推薦
していただく
体制づくりが
必要ではない
か。

か。

町長 消防団員の理
解を深める普及
啓発が重要である。具
体的には事業所への周
知活動、女性を対象と
した募集、新住民への
説明である。また、次世
代の消防団員の育成と
して、小中学生を対象
とした防災教育、防災
訓練での消防団員によ
る指導などがある。さ
らに、町内会長会議な
どによる町内会との連
携など様々な角度から
人材確保に努めていく。



私たち女性消防団員も国見を守ります

問 今年、団の組
織編成で支障を
きたしているところも
あった。幹部会議は大
変重要でそこで検討す
ることは当然である。
しかし、町からも消防
団に対し、積極的に意
見を出すべきではない
か。

町長 幹部会議で
しっかりと検討し
ていただきながら、町
としても意見を申し上
げていく。

Q 国際化に備え水田整備でコスト削減を

A 基本は農家の意向である

問 貝田地区で取り組もうとしている農地整備事業について聞く。国の補助事業に該当する要件は。

産業振興課長 主な要件は三点。

①今後とも農地として利用する面積が20畝以上。②認定農業者など、地域の担い手への農地

の集積率の向上。③地域の認定農業者数の増加。

問 農地整備をした場合の効果は。

産業振興課長 担い手農家の経営面積が約2倍、労働時間はほぼ半減、生産経費は約4割減少との結果

が示されている。また、地域ぐるみで将来の農業を考えるきっかけにもなる。

問 計画申請してから事業完了まで何年くらいかかるのか。

産業振興課長 工事完了まで10年ほどかかる。ただし、1年間のみ休耕となるよう実施をしたい。

問 一番気にかかると農家負担は。

産業振興課長 10㍻あたり約20万円を見込んでいます。なお、

農地集積率を向上させた場合は、負担軽減措置がある。

問 約2割の水田が農道や大規模区画の整備がなされていない。TPP(環太平洋経済連携協定)に備え、農地を整備し、地域の担い手農家に農地を集める施策を進め生産コストの削減を図るべきでは。

町長 農家、あるいは集落の意向がまず基本である。そのことを十分踏まえ、事業の必要性を総合的に判断していく。

農業の6次化を図る施策は

問 農産物を生産・加工・流通・販売までを手掛ける必要がある。いわゆる農産物の6次産業化

をどうとらえているか。えはないか。

をどうとらえているか。えはないか。

産業振興課長 活力あるまちづくり検討委員会で、6次化が可能な農産物の選定、組織づくり、商品開発、販売方法等の方向性を練り上げていく。

トップセールスの予定はないか

問 町長自ら特産品を売り込む考

町長 8月には札幌市、首都圏で桃を中心に、10月には新米を中心に特産品のPRを行っていく。一方、8月10・11日に首都圏から女性100人を招く予定もある。今後とも町長が自ら動くことを意識しながら、風評被害の払しょくや町の宣伝に努めていく。



渋谷福重議員



農地整備事業予定箇所の現状(貝田地区)